

登降園システムで簡単、正確に打刻🕒

市役所への報告書類を時短で作成、職員の働き方改革にも



会社名	児童クラブまどか
所在地	山形県米沢市門東町3-3-19
設立年月日	1999年6月
職員数	7名
事業内容	放課後児童健全育成事業

お客様の業務 Before

- 児童一人一人が学校から帰ってきた時刻と保護者が迎えに来た時刻を、毎日手書きにて記録。職員の勤怠管理も手書きで行っていた。
- 児童・要支援児童の出席状況や登降園時刻、職員のシフトなど1ヶ月分のデータを手集計し、決められた様式のエクセルに手入力して、6種類の報告書類を作成。毎月5日までに市役所に提出する。
- 時刻の手書き管理は記載ミスが起こる可能性があるため、正確性を求めタイムカード運用を試みた。

問題点

- タイムカード運用で正確且つ漏れの無い打刻が可能になったが、集計作業と報告書類エクセルに手入力する手間は変わらず、時間がかかっていた。集計作業が複雑なため書類作成業務が属人化せざるを得なかった。
- シフト次第では、朝から取り組み一日中書類作成をしていて、保育に携われない事もある。保育時間中は保育に専念し、児童の変化にすぐ気付けるようにしたい。
- 提出締切まで日にちがなく、担当者は早出や残業で対応しており、月初に休みが取りづらいという問題もあった。
- 子供の登降園に関して痛ましい事件を見聞きすることが増え、当クラブに通う児童の登降園の有無確認をより注意して行う必要性を感じていた。

お客様の業務 After

★ 導入ソリューション:SERVE 園-SiEN

- ✓ 児童一人一人に設定されたQRコードを、もともと使用していたタイムカードに張り付け、専用機器にかざし打刻する。タイムカードと併用し、あえて二重チェックをすることで人為的ミスが防げるほか、児童の登降園状況に異状があった時に見逃しにくい。
- ✓ 報告書類作成に必要なデータはすべてシステムで自動集計され、提出している様式に近い形で出力できるので、コピー&ペーストすればOK。手集計、手入力の必要がなくなり、負担が大きく減った。
- ✓ 報告書類を簡単に作成できるようになったので、属人化していた作業を職員で分担してできるようになった。結果、担当者の早出や残業がなくなり、月初に休みが取りづらい状態も解消。働き方改革につながった。
- ✓ 毎月の作業時間:1人約20時間 → 2人×3時間×1日=6時間 凡そ14時間短縮の効果が得られた。

お客様の業務における今後の展望

- 児童、職員の日々の検温の記録を手書き管理しているところと、保護者との連絡業務をシステム化し効率良くしていきたい。→【Risoスクリレ】を導入予定。
- 今回のシステムは、市の補助金を利用し導入できた。今後も補助金をうまく活用して、主に事務業務を効率化し、本業である保育業務にリソースを割き、より充実させていきたい。

担当営業

米沢支店
SE 長谷川